

2023年7月14日

各 位

会 社 名 株式会社ミモナ  
 (コード番号 7117 TOKYO PRO Market)  
 代表者名 代表取締役社長 池田 道夫  
 問合せ先 取締役経営管理部長 山中 一晃  
 T E L 0736 - 25 - 6639  
 U R L <https://www.mimona.co.jp/>

通期業績予想と実績の差異及び棚卸資産評価損の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年1月26日に公表しました2023年5月期の通期業績予想が下記の実績になりましたので併せてお知らせいたします。また、棚卸資産評価損を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 通期業績予想と実績の差異について

(1) 2023年5月期通期連結業績予想と実績の差異(2022年6月1日～2023年5月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,795	314	309	203	678.37円
今期実績 (B)	4,226	558	574	390	1,301.25円
増減額 (B-A)	431	244	265	187	
増減率 (%)	11.4	77.7	85.8	92.1	
(ご参考) 前期実績 2022年5月期	3,583	501	511	345	1,151.59円

(注) 2022年5月期の1株当たり当期純利益は、2022年5月期の期首に株式分割が行われたと仮定して期中平均発行済株式数で算出しております。

(2) 差異発生理由

売上高につきましては、2022年10月にOrangeによる燻製アウトドアスパイス「ほりにしブラック」が『調味料選手権 2022』において総合第1位を取得したこともありメディア紹介も相まって、アウトドアスポーツ事業のほりにし関連商品の販売増加及び特にB to B向けの卸売についても得意先の増加により、想定以上に販売増加につながりました。

利益面につきましては、新型コロナウイルス感染症の落ち着きもありレジャー需要の多様化に伴い、アウトドア関連商品の市場全体としての調整局面が散見されます。当社では、通期の販売実績に基づき、今後のアウトドア関連商品の弱含みも鑑みて棚卸資産評価損93百万円を想定以上に計上する結果となりました。しかしながら、売上に関する上述の影響を受け、ほりにし関連商品の利益、特に卸売の利益増加が想定以上となり当該評価損も吸収し、営業利益及び経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回りました。

## 2. 棚卸資産評価損の計上について

棚卸資産につきましては、每期評価ルールに基づいて見積計上しております。今期につきましては、上記（2）で記載の通り、通期の販売実績に基づき、今後のアウトドア関連商品の弱含みも鑑みて棚卸資産評価損93百万円を売上原価に計上しております。

以 上